

第四次環境基本計画（案）に対する意見

平成 24 年 3 月 21 日

1. 意見提出者名	容器包装の 3R を進める全国ネットワーク 代表者氏名：須田春海（運営委員長）、担当者氏名：中村秀次（事務局次長）
2. 住所	〒102-0082 東京都千代田区一番町 9-7-1 一番町村上ビル 6F 市民運動全国センター内
3. 業種	市民団体
4. 連絡先	電話番号：03-3234-3844 FAX 番号：03-3263-9463 電子メールアドレス： reuse@citizens-i.org URL： http://www.citizens-i.org/gomiO/

【意見】

容器包装の 3R を進める全国ネットワークは、3R に関する取り組みを進めている全国 150 あまりの市民団体のネットワークです。3R 全国ネットは、これまで 2R 促進キャンペーン活動や、容器包装リサイクル法を見直し、2R を優先した循環社会構築を訴えて活動してきました。こうした市民の立場から、今回の第四次環境基本計画（案）の「循環型社会の構築のための取り組み」の分野について意見を申し上げます。

<1> 第四次環境基本計画（案）の以下の点（87 ページ）について、具体的な方向性が出されていて、2R を優先した循環社会構築実現に向け、大きく前進が期待できる内容と評価いたします。

- ① 排出者責任・拡大生産者責任の徹底や製品製造段階からの環境配慮設計の更なる推進を図る。
- ② リサイクルの質を向上させ、使用済製品を原料として用いて同一種類の製品を製造する水平リサイクルのような高度なリサイクルを定着させる
- ③ 2R を重視したライフスタイルの変革

<2> 今後具体的に取り組むとしている、以下の点（87 ページ）については、是非、実効性の上がる対策が打ち出されることを期待します。

- ① リユース品が広く活用されるとともに、リユースに係るビジネスの市場につながるような環境を整備する。
- ② 2R の取組を制度的に位置付けることを検討する。

- ③ 容器包装の軽量化、リターナブル容器の利用、長期間使用することのできる製品の開発等の川上の事業者の積極的取組み。

<3>以下の点を、「循環型社会の構築のための取組み」に追加していただくよう検討をお願いします。

- ① 分別収集から事業者が責任をもって実施することが、リサイクル・システムを合理化し環境負荷と社会的総コスト軽減を図り、3Rの優先順位に則った循環社会構築への近道であるので、その道筋を示すこと。
- ② 複合材料などリサイクルの質が低くなる素材、塩ビや紙製容器の禁忌品などリサイクル困難な素材について、リサイクル負担額を強くして、発生抑制を行うこと。
- ③ 「リユース」に取り組む事業者は、現在、存続困難な状況に追い込まれている。一度失ったインフラの再建は大変困難であるので、リユースシステムの再構築と、リユース事業者への支援は喫緊の課題であり、直接的な支援が必要であること。
- ④ レジ袋有料化が進まない大都市圏やコンビニなどでの有料化を促進するため、法律でレジ袋有料化を義務付けること。
(地域自主協定が広がっているように、独禁法違反という問題はすでにクリアされています。)
- ⑤ 一回使用用品について経済的な措置により使用を抑制する方向を打ち出すこと。

最後に、2Rを優先した循環社会構築実現に向け、大きく前進が期待でき、日々、発生抑制やリサイクルの分別排出に務めている市民の努力が報われる方向を打ち出され、基本計画(案)の取りまとめをいただいた、中央環境審議会総合政策部会の委員の皆様のご努力に、敬意を表します。